**公開講演会**

**乳幼児の発達障害への気づきと支援**

**主催 日本臨床発達心理士会・千葉支部 後援 千葉県教育委員会**

発達障害への気づきと支援は、育児保育・教育・就労支援等、すべての分野での重要な課題となっています。中でも乳幼児期における早期の気づきと支援の始まりは、育児の困難さを抱える養育者を支えるために最も必要とされるものです。

受診率が９割を超える日本の乳幼児健診システムは、世界に誇るべきものですが課題も抱えています。その課題を改善し、乳幼児健診をきっかけにすべての子どもたちに必要な支援が始められるように、また、千葉県という広域で限られた支援の資源の中で有効な体制が構築できるように、参加者の皆さんとともに地域の支援体制作りについて検討したいと思います。

会員でない方でも、子育て支援にかかわっている方はどなたでも参加できます。午前のみ、午後のみの参加もできますが、希望者が多数の場合は一日参加の方を優先させていただきます。

１０月２５日(日) ９：３０～１６：３０ 受付開始 ９：００

千葉大学西千葉キャンパス教　育学部大会議室

ＪＲ西千葉駅より徒歩８分、京成みどり台駅より徒歩７分。

資料代 ２０００円(午前・午後各１０００円) 当日会場でお願いします。

午前の部９：３０～１２：３０

講 演 乳幼児健診の現状と課題 ～狛江市での健診後の取り組みについて～

中川信子 （言語聴覚士 子どもの発達支援を考えるSTの会代表）

午後の部① １３：３０～１５：２０

話題提供親の気づきと支援のために～気づきの項目の紹介、親への支援～

黒澤礼子（江戸川区子ども家庭支援センター・法政大学講師）

午後の部② １５：３０～１６：３０

分科会地域の支援体制を考える～限られた資源で広域をどのようにカバーするか～

参加される方は下記事務局まで、Ｅメール、ファックス、葉書のいずれかでお申し込みください。